


図1 インタビュー対象者（協力者）募集のためのインターネットサイト

 **日本患者会情報センター**
the Community for Patient Participation in Japan

総入れ歯治療についてご意見をくださる方を求めています

お願い

入れ歯の学会（日本補綴歯科学会）が、改めて患者さんの声に耳を傾けてみようと考えています。

どのような医療でも、医療の主人公は本来患者さんです。とくに、急性症状がなく、生命に直結していない医療では、患者さんが生活のなかで感じている不自由や、治療を前に感じる不安や期待、治療のなかで感じる不快感や安堵などを医療提供者が進んで汲み取って初めて満足度の高い医療になります。そこで、入れ歯の学会では、入れ歯の診療に携わる多くの歯科医師が、患者さんとの意志の疎通を図り、患者さんの生活の質を可能な限り改善する医療を提供するために、患者さんの生の声を尊重した診療ガイドラインをつくることを計画しています。

まずは、入れ歯治療に満足の方、不満の方、若い方、高齢の方、様々なご意見をお聞きすることにします。是非、ご協力ください。

一般に患者さんが参加する診療ガイドラインは、適切な患者さんの団体に依頼して、幅広く患者さんの声を聞いている方にガイドラインづくりの会議に委員として出席していただく方法をとります。ただ、入れ歯には、患者さんの団体がありません。そもそも、歯がないことは病気か？ ということひとつをとっても意見は分かれます。そこで、まずは、様々な経験をもった方にお集まりいただき、総入れ歯に話題をしばった雑談会を開いて幅広くご意見をいただくことから始めます。

総入れ歯一歩手前の方、ほとんど自分の歯のない方、総入れ歯で過ごしている方、を募集します。

募集するのは<総入れ歯一歩手前の方、ほとんど自分の歯のない方、総入れ歯で過ごしている方>です。年齢、社会階層、入れ歯経験の多様なご意見を集めるために調整候補者全員のお話をきくことができないことが考えられます。予めご了承ください。

作業

作業の要件

日 程：急ですが、2月7日（日）、都心の会場に（なるべく）参加できる方を募集いたします。

時 間：（A）午前11時から2時間、または（B）午後2時から2時間

（約6人の談話の会を2回予定しています。改めてご希望をお聞きします）

交通費：実費を支給いたします（介助者が必要な場合は介護者の交通費をご請求ください）

謝 礼：1万円（追加のご質問や文書化したものへのご意見をお寄せいただく作業を含みます）

医療相談：当日は二つ以上の大学から補綴歯科学会の委員が参加します。

患者さん同士の談話の後、入れ歯などについてご相談をいただくことは可能です。

この事業は、平成21年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進事業

歯科分野における診療ガイドラインの評価とその普及に関する研究

（研究代表：石井拓男・東京歯科大学社会歯科学研究室教授）によって進められています。

総入れ歯治療経験者のご意見を集めるこの作業は、研究協力者である患者会情報センター秋元秀俊が担当しています。

ご参加への申込方法

以下のPDFをダウンロードして、必要事項をご記入の上、ファックスで秋編集事務所（FAX番号：[REDACTED]）までお送り下さい。

[ご参加申込PDF \(212 KB\)](#)



pdfファイルをご覧いただくためにはAdobe Acrobat Reader™ が必要です。お持ちでない方はアイコンをクリックしてダウンロードして下さい。

お問い合わせ・申し込み 連絡先

日本患者会情報センター 秋元秀俊

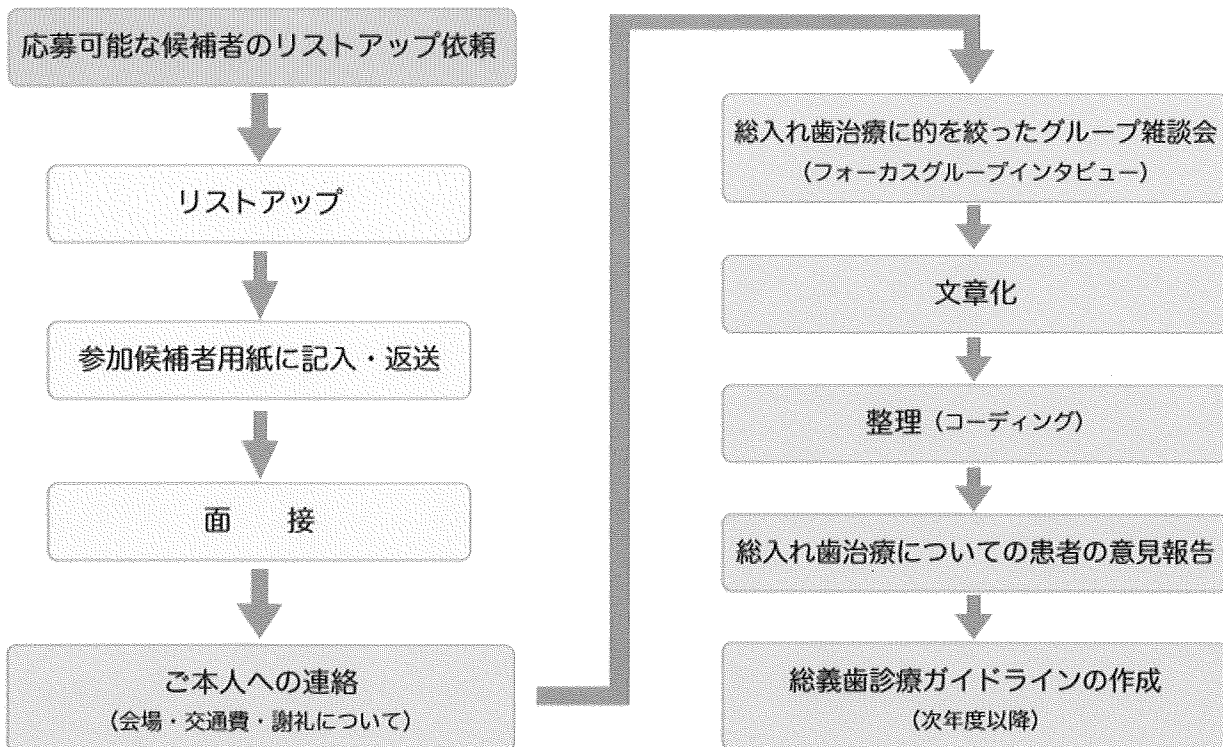
申込書送付先：[REDACTED]

電話 [REDACTED]

FAX [REDACTED]

作業の手順

作業手順



[日本患者会情報センター ホームへ](#)

[ページの先頭へ](#)

Copyright © the Community for Patient Participation in Japan. All Rights Reserved.

図2 インタビュー対象者（協力者）募集のためのバナー広告

